

社長挨拶



大豊工業株式会社
取締役社長

上田建仁

2020年のCO₂削減目標値が各所で議論されています。日本においても削減目標が示され、持続的発展に向けた活動は待った無しの状況にあります。当社はかねてより、環境問題への対応を軸とした企業活動を進め、製品、生産など、全ての分野で責任を果たすべく、取り組んでまいりました。経営環境が激変する今日においても、環境分野活動の重要度は不変です。むしろ、環境活動を通じた社会への貢献が企業価値を決める点で、重要度は高まっているといえます。

当社は、製品分野において、コア技術であり燃費改善に繋がる低摩擦軸受、EGRバルブなどの排気ガス対策部品、環境負荷物質を使用しない鉛フリー軸受などで、貢献してまいりました。また、生産活動では工程や設備全般にわたるシンプル・スリム化、生産性向上、不良低減を推し進めるとともに、徹底した省エネルギー化を進めております。

環境ニーズを受けて、自動車技術は今後、ますます大きな変革を求められています。当社は、コア技術であるトライボロジーを軸に、製品と開発工程で自動車技術と深く関わることで、燃費改善・温暖化防止、大気質改善に貢献し続ける所存です。

今後とも、当社の活動を皆様にお示ししてまいります。忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

企業理念

社 是

わが社は時流に先んじ、合理主義に基づき
優れた製品をもって顧客の信頼に応える

— 信頼の大豊 —

中期経営計画 (2009~2011年度)

● 中期経営方針

基本に忠実な企業体質づくりと未来への飛躍

● スローガン

基本にかえり、未来を創造

● 中期達成目標

1. 環境、安全、コンプライアンスが浸透した、地球と社会にやさしい企業グループ
2. 技術・品質、No.1のトップブランド商品を提供する企業グループ
3. 経営資材の最適配分により、世界に広がる企業グループ
4. 未来をになう人材を育成し、成長を続ける企業グループ

2009年度会社重点指針

たいかん

体幹を鍛え、

試練をチャンスに!

● 重点項目

- 先の変化をにらんだ研究、技術開発力の強化と実行
- 変化に対応できる最適生産、システム、新工法の開発と実行
- モノづくりの会社として、開発から設計、生産、販売までスルーに見た原価の見える化と追求